

## 科目名：インバウンド概論

対象クラス(専攻)：2年 観光学科 (国際総合)

単位数：1

担当者名：梅澤 義幸

授業形態：講義

教材：講師作成資料・日本ふるさと再発見 (1年生の時に配布済み)  
(講師・インバウンド概論・JTB 総合研究所)

教員の実務経験：大手旅行会社にて42年間勤務 (店頭営業・団体営業・総務・人事・  
税務・財務・法務・支店長・本社地域統括部長を歴任。  
アジア圏での海外駐在経験あり)

授業内容：(実務経験を活かした指導内容)

日本での就業のために、日本におけるインバウンドの実態を総合的に  
学習する。

到達目標：

- (1)日本におけるインバウンドの取組み・歴史を含め理解する。
- (2)宿泊業におけるインバウンドの特性と現況を理解する。
- (3)インバウンドの実務について理解する。
- (4)自国の観光資源や観光への取組みについても理解する。

評価方法／基準：期末試験結果 (100%)、出席率を総合評価  
70%以上 A, 60%以上 B, 50%以上 C

その他、注意事項：

- \*授業姿勢の悪い生徒は (授業中の私語、いねむり、学習意欲欠落、  
遅刻時における無言着席など)  
教務主任と相談し、改善の余地がないと判断された場合、  
試験結果にかかわらず 未評価とする。

関連する主な検定試験：-----

キーワード：日本観光・外国人旅行者 ほか

<授業計画>

第1週	訪日外国人旅行者誘致の歴史
第2週	海外旅行自由化とインバウンド 厳しい環境下のインバウンド
第3週	国際間競争時代の環境整備
第4週	現在までの主な国際観光政策
第5週	インバウンドの今 各種キャンペーン
第6週	訪日外国人旅行者の現況とコロナウイルスの影響による 推移について
第7週	国際コンベンションの現況 (東京都立大学 出典の資料配付)
第8週	① 各国におけるマーケット特性 韓国・台湾・ベトナム・米国
第9週	② 各国におけるマーケット特性 中国・香港・ネパール・カンボジアなど
第10週	外国人旅行者の誘致と受け入れ課題 インバウンドに関連する法律
第11週	インバウンド関連産業 ・旅行業・宿泊業・運輸業・観光施設など
第12週	インバウンドの実務 仕事の流れ
第13週	インバウンド業務で使う英語 インバウンドの歴史年表について
第14週	授業の振り返りと 期末試験
第15週	期末試験 解答と解説

\*テーマによってはDVD視聴(20~30分程度)理解度の向上をはかる。